

アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)

2019 年度 事業報告書

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

<2019 年度 総括>

2019 年度は、2020 年の横浜、それ以降の横浜のまちづくりを見据えて、開発率は 90%を越え完成に近づきつつある横浜みなとみらい 21 地区と、創造都市横浜の主たる活動地域であった関内・関外地区、この新旧の都市軸を繋げることを意識して活動をしました。特に過去 3 年間の文化芸術創造都市プラットフォーム形成過程で生まれた繋がりや、そこから派生した新たな繋がりを組み合わせ、複数の新規の取り組みを実施しています。結果として、横浜市経済局をはじめとする外部との連携を深め、みなとみらい地区の企業や、関内地区の地域団体、地元企業等とアーティスト・クリエイター群との交流を促進し、創造都市横浜の活動を街に広げ、枠組みを超えた協創を生み出しています。

また、長年続けてきたクリエイティブ・チルドレン、クリエイティブ・インクルージョンといった 2 つの柱となる助成も充実し、数多くの優れた作品や活動が生まれています。

1. 文化芸術創造都市横浜プラットフォームから様々な活動が派生

アーティスト、クリエイター、企業や NPO、大学・研究機関等の関係者が出会い、交流し、相乗効果を生み出していくミーティング・プログラム「WE BRAND YOKOHAMA」を 3 回開催。企業や行政と連携し、THE BAYS、みなとみらい Innovation & Future Center、YOXO BOX といった会場で実施、多様な参加者にご参加いただきました。横浜らしい先端的で発信力ある取組や、新たなビジネス創出のきっかけとなるとともに、文化芸術創造都市・横浜を実現していくための可能性を広げています。

また、横浜市経済局と連携し、経済局主催「横浜イノベティブ・クリエイティブ月間」へ参加、資生堂 S/Park と連携し企画(ダンス保育園)や、芸術不動産のフォーラムを実施するなど、活動が派生しています。

2. クリエイティブ・チルドレン、クリエイティブ・インクルージョンの助成活動が充実

横浜から世界に芸術文化を発信する次世代のアーティストを育成し、そのキャリアアップを支援するための助成(創造都市横浜における若手芸術家育成助成 クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ)では、7 名(うち 3 名継続)を採択。市内、国内での活動に加え、パリ、香港、ジョグジャカルタ、ペルー、メキシコ等、世界各地に活動の輪を広げる機会となりました。

また、共生社会を目指して、アーティスト、クリエイター等による創造性を生かした社会包摂を試みる多様なプロジェクトを支援する助成(クリエイティブ・インクルージョン活動助成)では、4 事業(うち 2 事業継続)を採択。病院で、入院中の子ども達やその家族を対象に実施したアートプログラム「アート・クリエイティブによる病院内コミュニケーション増進プロジェクト」や、寿町で子どもや地域の人々と一緒に新たなお祭りをつくる「寿町で子どもたちと山車まつりをしたいっ」、老若男女・障害あるなしに関わらず誰もが参加できるダンスプログラム「育て！メッセンジャー事業」、ひきこもりをテーマとした「修復のモニュメント」などを支援し、芸術と社会の関係を深く問う機会となりました。いくつかの取り組みはメディアでの発信力も高く、多くの市民が作品を通じて共生社会について考えるきっかけづくりを生み出しています。

3. 創造都市横浜の発信

文化芸術創造都市・横浜の取組み、創造界隈拠点、芸術祭や財団の公演・展覧会、また、まちづくりやデザインなどを話題に、ヒト、モノ、コトの切り口で毎月数本の読み物を WEB 記事で配信しています。横浜音祭り 2019 の開催にあわせて、ディレクター等を取材。黄金町バザールの紹介や BankART の展示紹介に加えて、財団の特徴的な事業、横浜美術館 30 周年なども紹介し年間 38 本の記事を掲載しました。また、初の試みとして、東京都内でウェブメディア運営企業、市内クリエイター、市内企業、横浜市経済局と連携した PR イベントを実施し、横浜で創造産業に取り組む魅力を発信しています。

4. 関内外 OPEN! 「道路のパークフェス」を地域と共催で実施。

これまでクリエイター主導で 3 年間続けてきた「道路のパークフェス」の新たな試みとして、本年度は関内まちづくり振興会と共催しました。これは、街の方がクリエイター活動に関心を示してくださり、一緒に発信していきたいと実現したものです。

1 相談業務

相談件数(平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月) 総数

内容	件数	相手方	件数
紹介／マッチング	19	アート系	56
企画全般	36	クリエイター系／創造産業系	20
助成	40	行政	20
広報	3	一般企業	51
情報提供	27	市民団体	5
移転	10	その他	5
DB 登録希望	20	大学	3
視察／調査／取材	6	マスコミ	2
その他	1	オーナー	0
合計	162	合計	162

【クリエイター紹介事例】

横浜市関連では、建築局、健康福祉局、教育委員会、議会局、経済局等の活動をデザイナー等に繋いでいます。また、複数の企業や地域団体からの依頼を受け、クリエイターの紹介を行っています。



横浜市建築局 建築企画課



横浜市健康福祉局食品衛生課



横浜市議会局総務課

2 文化芸術創造都市プラットフォーム

昨年から続ける「We Brand Yokohama」を関内地区に加えて、はじめて横浜みなとみらい 21 地区で開催。横浜DeNAベイスターズ、富士通エフサス、横浜市経済局と共催し各会場で開催しました。横浜のブランド形成に資する取組みとし、企業や民間財団との協働プロジェクトを生み出しています。

(1)「WE BRAND YOKOHAMA」



文化芸術創造都市横浜の取組みの一環として、企業、行政、クリエイターらが参加し、横浜の未来に向けたプロジェクトを起こすワークショップを実施。「横浜をブランディングする」アイデア・プラン立案を目指し、横浜のステークホルダー・クリエイターと共に実施することで、相乗効果を生み出すための触媒機能を担うプラットフォーム形成へ寄与しました。

日時：①第四回：2019年7月24日(水)(18:30～21:30)

②第五回：2019年10月24日(木)(19:00～21:45)

③第六回：2019年12月9日(月)(18:30～21:30)

会場：①THE BAYS、②みなとみらい Innovation & Future Center、③YOXO BOX

参加者数：①36名、②32名 ③48名

ファシリテータ：太刀川英輔(NOSIGNER代表)、西田 司(オンデザインパートナーズ代表)、熊谷 玄(stgk代表)

内容：①「防災を社会のムーブメントへ」 ゲスト：大木聖子(慶應義塾大学准教授)

②「みなとみらいと未来」 ゲスト：高木秀昭(横浜市経済局新産業創造課長)

松井啓太(日産自動車株式会社ニッサン パビリオン館長)

③「関内から未来を創造する」 ゲスト：三浦詩乃(横浜国立大学大学院助教)

(2)文化芸術創造都市横浜プラットフォームのプロモーション制作物の作成

・リーフレット(アーツコミッション・ヨコハマと同プラットフォームの紹介冊子) 2000部

・We Brand Yokohama ステッカー、装飾フラッグデザイン



(3)横浜イノベティブ・クリエイティブ月間への参加

横浜市経済局主催のプログラム、企業や横浜市の芸術不動産チームと連携してプログラムを企画し参加しています。資生堂を会場とした子育て世代向けイベントでは、子どもたちと一緒に楽しむダンスワークショップにあわせて女性の働き方、子育てに関するトークを実施。一方、まちづくりをテーマとした芸術不動産トークでは、横浜らしいワークスタイルをテーマにし、みなとみらいと関内で働く企業やフリーランスに登壇いただき、その魅力を語っていただきました。

■～横浜ガジェットまつり 2019 公式プログラム～

ワークショップ&パフォーマンス「ダンス保育園！！」&トーク「子育てでひらめく、私のクリエイティビティ」

日時:2019年10月26日(土) 10:00～12:00

会場:資生堂グローバルイノベーションセンター S/PARK

参加総勢 84名(うちWS参加 23組(子ども 32名、大人 33名)、観覧 19名)

第1部 ワorkshop&パフォーマンス「ダンス保育園！！」

講師・出演:篠崎芽美

出演:茶木真由美

音楽:国広和毅

第2部 トーク「子育てでひらめく、私のクリエイティビティ」

【スピーカー】

篠崎芽美(振付家・ダンサー/ダンス保育園！！実行委員会)

永山祐子(建築家/永山祐子建築設計事務所/ダンス保育園！！実行委員会)

荒木夏実(キュレーター/東京藝術大学准教授)

住吉智恵(アートプロデューサー/ダンス保育園！！実行委員会代表)



ダンス保育園



芸術不動産シンポジウム

■芸術不動産シンポジウム「“関内”と“みなとみらい”。横浜らしいワークスタイルが生む豊かさとは」

日時:2019年10月25日(金) 16:00～16:55

会場:BankART Station

登壇者:浅沼秀治(建築家)、山澤諭(弁護士)、川島史(BUKATSUDO マネージャー)

桐川翔太(富士ゼロックス株式会社)

モデレーター:相澤毅(G INNOVATION HUB YOKOHAMA プロデューサー、ヨコハマ芸術不動産)

杉崎栄介(アーツコミッション・ヨコハマ チームリーダー)

(4)ハマの大喜利

地元企業とクリエイターとの連携を深めるプレゼンテーションイベントの開催を3月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために無期限延期にいたしました。

3 助成

横浜市では、文化芸術創造都市の一層の推進を図るべく、才能豊かな新進アーティストなど将来の芸術家の芽を育む取組を推進し、ライフステージに応じた次世代育成(クリエイティブ・チルドレン)を幅広く展開しています。また、障害・人種・国籍・宗教・年齢・性別等の様々な違いを越えて創造的に課題解決を図るとともに、誰もが対等な関係で関わり合い、社会や組織に参画するという考え方(クリエイティブ・インクルージョン)をもって、事業を実施しています。これらの趣旨のもとアーツコミッション・ヨコハマ事業として2つの活動助成プログラムを実施しています。

「若手芸術家支援助成クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ」は、横浜から世界に文化芸術を発信する次世代のアーティストを育成し、そのキャリアアップを支援するための助成です。アーティスト活動へ助成を行っています。

「クリエイティブ・インクルージョン活動助成」は、共生社会の実現に向けて、アーティスト、クリエイターによる創造性を活かした社会包摂を試みる多様なプロジェクト(活動)を支援し、そのことが横浜の新たな魅力となり、世界へ発信されていくことを目指すものです。

(1)若手芸術家支援助成クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ

応募総数:51件(舞台芸術24件、美術27件) ※うち継続3件

採択件数:7件、交付総額:4,850,000円

審査会:2019年8月5月29日

報告会:2020年3月9日

審査員:

窪田研二(キュレーター) KENJI KUBOTA ART OFFICE 代表

木村絵理子(キュレーター)横浜美術館主任学芸員

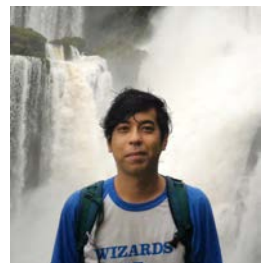
山口真樹子(ドラマツルグ)国際舞台芸術交流

中富勝裕(プロデューサー)横浜市芸術文化振興財団 プロデューサー(ダンス)

① 神里 雄大 (作家、舞台演出家)

1982年ペルー生まれ。世界各地を訪ね歩き、出会った人々から聞いた話を元に作品を構成するという執筆スタイルを採用している。2006年「しっぽをつかまれた欲望」(作:パブロ=ピカソ)で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018年「バルパライソの長い坂をくだる話」で第62回岸田國士戯曲賞受賞。ヨーロッパやオーストラリアなど海外公演多数。世界各地で戯曲が上演されている。2016年～2017年まで文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてアルゼンチン・ブエノスアイレスに滞在。

サポート内容:新作パフォーマンスのためのリサーチ、横浜・京都・沖縄での上演
助成額:800,000円



② 玄 宇民 (アーティスト)

東京生まれ。生まれた地を離れた人々のありようと移動の記憶、マイグレーションをテーマに映像作品を制作。近作は戦前の日本に暮らした韓国人女性飛行士の足取りを俳優と共にたどる『未完の旅路への旅』(2017)、香港の離島、韓国の済州島を舞台にした『逃島記(とうとうき)』(2019～)など。2016年以降ソウル独立映画祭(韓国)、Taiwan International Video Art Exhibition(台湾)、ディアスポラ映画祭(韓国)で作品上映。東京大学文学部美学芸術学専修卒業。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻博士後期課程修了。サポート内容:香港・韓国でのリサーチ、映像作品の制作・横浜でのトークイベント・上映会の実施

助成額:800,000円



③ 高山 玲子 (美術家・俳優)

京都府出身。俳優として数多くの舞台、映像、パフォーマンス作品に出演する。また同時に映像作品、各種メディアを用いたパフォーマンス作品の制作を行う。近年では、境界線(演者/観客・あなた/わたし・あの世/この世)に注視し、これらの見えないラインを、可視化・表象することで起こりうる認識のズレなど、“人の数だけ答えが違うことをみんなで面白がれること”を主軸とした制作活動を行なう。サポート内容:新作パフォーマンスのためのリサーチ、横浜での上演および会場紹介、インタビュー記事制作・出稿

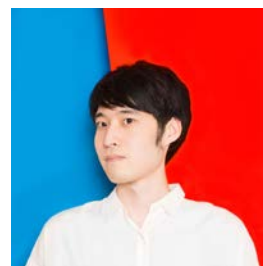
助成額:400,000円



④ 額田 大志 (作曲家・演出家)

1992年東京都出身。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒業。2013年に8人組バンド・東京塩麴を結成。ブレイクビーツとミニマルミュージックを軸としたサウンドで、これまでに2枚のアルバムをリリース。2018年にFUJI ROCK FESTIVALへ出演。また2016年に演劇カンパニー・ストミックを結成。スコアのように書かれた上演台本や、音楽的とも評されるセリフ回しを特徴とする。クリエイションの根幹で音楽と演劇を接続し、新たな観客/作品を生み出すことを目標に活動を続けている。サポート内容:創作メソッドのためのアーティスト・イン・レジデンス、横浜での過去作リクリエーションおよび上演、インタビュー記事制作・出稿

助成額:800,000円



⑤ 布施 琳太郎 (美術家)

1994年生まれ。2017年東京藝術大学美術学部絵画科(油画専攻)卒業。現在は同大学院 後期博士課程 映像研究科(映像メディア学)に在籍。壁画/絵画とインスタレーションの制作をはじめとして、同世代の制作者を広く集めて編纂する展覧会企画や批評などの活動を行っている。主な展覧会企画に「iphone mural(iPhoneの洞窟壁画)」(2016)、「新しい孤独」(2017)、「ソラリスの酒場」(2018)、「孤独の地図」(2018)など。他、参加グループ展多数。「第16回美術手帖芸術評論募集」に「新しい孤独」で入選。サポート内容:マッチング(横浜での企画展キュレーション)、個展の開催、作品集の発行、新作展示のためのリサーチ

助成額:850,000円



⑥ 本間 メイ (アーティスト)

1985年東京都生まれ。2011年チェルシー芸術大学大学院ファインアーツ科修了。Back and Forth Collectiveメンバー。インドネシアと日本の歴史的関係の研究を基点に、社会・政治的な問題や多国間における関係性を考察する映像作品やインスタレーションを発表。近年は見過ごされがちな女性に関する歴史を主に扱う。主なグループ展に2018年「つぎはぎの“言葉”(字ことば kataeweaweae)」トーキョーアーツアンドスペース本郷、TERATOTERA祭り2018など。サポート内容:横浜での個展の開催、インタビュー記事制作・出稿
助成額:800,000円



⑦ 山形 一生 (美術家)

東京藝術大学大学院美術研究科絵画修了。インターネット以降における美術、および画像流通とその政治性についてを主題に制作と研究を行う。それらと関連した論考として「水色のぶにぶに - ポストインターネットアート」(Massage, 2019-)、「キャラクターの同一化と引き剥がし」(Vindr vol.6, 2018)など。また、主な展示として「MASAMUNE」website, 2018、「Surfin'」情報非公開, 2017など。主な受賞として2018年に「映像作家100 - NEWAWARDS」にて大賞、2016年「21th Campus genius award」にて谷口暁彦評価員賞など。サポート内容:横浜での展示企画の開催および会場紹介、横浜でのインタビュー記事制作・出稿
助成額:400,000円



(2)クリエイティブ・インクルージョン活動助成

応募総数:26件 ※うち継続4件
採択件数:4件 交付総額:3,650,000円
審査会:2019年5月20日
中間報告会:2019年10月10日
報告会:2020年3月10日

審査員:

岡崎智美(横浜市民ギャラリーあざみ野 担当リーダー/主任エデュケーター)
こくぼひろし(ひとしずく株式会社 代表)
曾我部昌史(建築家)
野崎美樹(NPO 法人スローレーベル インクルーシブ・プロジェクトマネージャー)

①アートマネジメントオフィス アホイ!

「アート・クリエイティブによる病院内コミュニケーション増進プロジェクト」 交付額:1,100,000円

【実施内容】

実施日:2019年11月6日、11月8日、11月13日、11月26日

会場:横浜市立大学附属病院小児科病棟内

共催:横浜市立大学先端医科学研究センター、

コミュニケーション・デザイン・センター (YCU-CDC)

協力・寄付:横浜市立大学附属病院小児科、東方文化支援財団

来場者数:70名

販売・発行実績:ドキュメントブック 300部制作

内容:アートマネジメントを行う塚田氏が、横浜市内の病院で、入院中の子ども達やその家族などを対象に、アーティスト・クリエイターと協働しアートプログラムを実施する。その体験を通して病院内外のコミュニケーションを活性化させ、病院をより過ごしやすい空間に変え、人々を明るく元気にするプロジェクトを行う。



②竹本真紀

「寿町で子どもたちと山車まつりをしたい」 交付額:1,250,000円

【実施内容】

実施日:(ア)2019年9月7日、8日 (イ)2019年11月26日~12月8日

(ウ)2019年11月29日、30日、(エ)2019年12月1日、

(オ)2020年2月11日~2月21日

実施場所:(ア)寿町健康福祉交流センター 多目的室 (イ)寿町健康福祉交流センター1階ラウンジ

(ウ)寿町健康福祉交流センター 作業室 (エ)寿町健康福祉交流センター 周辺

(オ)象の鼻テラス

協力・後援等:寿町健康福祉交流センター、象の鼻テラス

来場者数:(ア)30名、(イ)センター展示 1880名、

(オ)8049名

内容:美術家の竹本氏が、寿町で子どもや地域の人々と一緒に新たな祭りをつくるアートプロジェクト。保育所、学童や近隣の小学校の子どもたちと山車をつくるワークショップを行い、寿町内やその周辺の地域で活動する団体との関わりも生み出す。準備から成果発表までが一つの連続したアートプロジェクトを行う。



④渡辺篤

「修復のモニュメント」 交付額:800,000円

【実施内容】

実施期間:2019年6月1日~2020年5月10日

※当初公開した開催日程 2020/2/21~3/15。その後、「新型コロナ感染拡大の影響」で

3/1~3/15に休止。この段階で終了日を5/6まで延長

実施場所:「BankART SILK」(展示会場)、2、「R16スタジオ」(主な制作場所)

共催:BankART1929

来場者数:400名 写真集販売数:約350冊

メディア掲載数:NHK『クローズアップ現代+夏スペシャル』、NHK Eテレ『ハートネットTV』、美術手帖掲載など、メディアによる約15件以上の取材あり。

販売・発行実績:作品集「アイムヒア」渡辺 篤 初版1500冊、2020年3月末現在約400冊の販売

内容:昨年度からの継続事業。現代美術家の渡辺氏が“開かれた対話”、“再構築と修復”の概念を取り込んだ対面型制作を行う。ひきこもり当事者・経験者と共に創作し展示する。社会から孤立した人と接続し、その存在をなきものにしなない表現活動を行う事で、これまで社会に対して閉じられ語られてこなかった当事者の視点を「声なき声」として社会に発信していく。



②あしおとでつながろう！プロジェクト(代表:おどるなつこ)
「広がれ！メッセンジャー事業」 交付額:500,000円

【実施内容】

実施日:(ア)2019年5月1日～6月9日 (イ)2019年7月20日 (ウ)2019年7月31日
(エ)2019年8月31日 (オ)2019年10月19日

実施場所:(ア)BankART Station、(イ)登米市中田生涯学習センター(宮城県)
(ウ)鎌倉あそび基地 民間学堂フリースクールふかふか(鎌倉市)
(エ)山王子どもセンター(大阪府) (オ)寿町健康福祉交流センター多目的室

共催:NPO 奏海の杜、NPO 鎌倉あそび基地、NPO こえとことばとこころの部屋、NPO 山王子子どもセンター
協力・後援等:エヌ・クラブ、ジョイカンパニー、ぶどうの木、多夢多夢舎、ココルーム、寿町健康福祉
交流センター、ことぶき協働スペース、寿町生活館、BankART AIR2019、SLOWLABEL

来場者:315名

活動参加者数:出演・スタート・ボランティアなど 71名(参加総時間数 570時間)

販売・発行実績:昨年度発行イラストブック 36冊

内容:一昨年度からの継続事業。横浜市内で、障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで参加できるダンスプログラムを行っている団体。過去活動に参加してきた人が、障がいの有無に関わらずダンスの楽しさを伝える「メッセンジャー」として全国を旅する。他地域にダンスプログラムを広げていくとともに、旅での経験を横浜に持ち帰り伝えることで、新たな地域間のネットワークを構築するプロジェクトを行う。



(3)アーツコミッション・ヨコハマ助成報告会

下記2つの助成制度について最終報告会は、公開で実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、ビデオ会議システムにて報告会としました。報告会は、各アーティストや活動主催者のプレゼンテーションを行う第1部、審査員講評を行う第2部の2部構成で実施しました。

(ア)若手芸術家支援助成 クリエイティブ・チルドレン・フェロシップ報告会

日時:2020年3月9日(月)14:00～17:30

会場:横浜市芸術文化振興財団事務局、他(オンラインビデオ会議で実施)

(イ)クリエイティブ・インクルージョン活動助成 報告会

日時:2020年3月10日(火)14:00～16:50

会場:横浜市芸術文化振興財団事務局、他(オンラインビデオ会議で実施)



4 創造都市プロモーション

文化芸術創造都市・横浜の取り組みについてアートやデザインのファンに向けて広く周知するため、横浜市都心部における諸活動を紹介するプロモーション活動を行う事業。イベント等の催事のほか、創造都市政策のもとに横浜に集った人材やプロジェクトなどを、ウェブサイト(SNS 含む)を運用して発信しました。

(1) WEB マガジン『創造都市横浜』

創造都市横浜の魅力を紹介するメディア。Facebook、Twitter 等の SNS と連動し、取材・執筆を基本に「読みもの」として情報発信を行いました。

掲載記事：38 本、Facebook 108 本
Twitter 101 本

編集方針：アート、産業、まちづくりなど、広くクリエイティブな活動を取り上げる。イベント情報に限らず、日常的な取り組みや中長期的なプロジェクトなども読み物としてストーリー性を加えて紹介。クリエイティブな視点で横浜の人や街を取材し、①特集、②ひと、③モノ、④コト、⑤街、⑥食べる、⑦コラム、⑧イベントのカテゴリを設け、記事を作成。



①アクセス数 (URL : yokohama-sozokaiwai.jp 内)

月	アクセス数	月	アクセス数
4 月	146,769	10 月	163,872
5 月	153,106	11 月	158,653
6 月	151,902	12 月	156,252
7 月	138,703	1 月	148,243
8 月	157,723	2 月	147,180
9 月	135,835	3 月	205,105

合計 1,863,343 (前年 1,948,983 前年度比 95%)

②Facebook いいね数

月	いいね数	月	いいね数
4 月	20,829	10 月	20,740
5 月	20,827	11 月	20,724
6 月	20,812	12 月	20,700
7 月	20,791	1 月	20,698
8 月	20,774	2 月	20,664
9 月	20,755	3 月	20,630

③Twitter フォロワー数

月	フォロワー数	月	フォロワー数
4 月	8,029	10 月	8,123
5 月	8,036	11 月	8,123
6 月	8,060	12 月	8,119
7 月	8,087	1 月	8,125
8 月	8,104	2 月	8,116
9 月	8,128	3 月	8,102

(2) 横浜市クリエイターデータベースの作成

ACY の活動の成果として、都心臨海部に集積するアーティストやクリエイターの力を市内の事業に繋ぎ、さらに横浜の魅力を生み出し発信していくことを趣旨に、グラフィックや WEB 等のデザインに関わるクリエイターのプロモーションのための検索・紹介機能に優れたサイト「横浜市クリエイターデータベース」を平成 28 年度に立ち上げ、運用を行っています。利用者のアンケートを実施し、細かな改修を行っています。

【概要】

名称：横浜市クリエイターデータベース URL <https://acy.yaf.jp.org/creatorsdatabase/>
内容：クリエイターの制作事例、得意分野提案、会社概要を紹介するページで構成されたサイト

登録者数：52 組（うち今年度 9 組、前年 45 組）

登録者：グラフィック、WEB、映像、写真、イラスト等、クライアントワークを行っているデザイナー、もしくはその方が代表者を務める法人等。

利用者想定：企業、行政各部署、NPO 等

令和 1 年度アクセス数 253,430（前年 210,781 前年度比 120%）

(3) FINDERS SPECIAL SESSION「横浜進出で広がるクリエイティブな展望」

東京にて創造都市横浜とイノベーション都市を合同でプロモーションしました。クリエイターやビジネスマンがユーザーである WEB 媒体 FINDERS のスタジオでトークイベントを開催し、そのレポートを記事として発信していきました。

日時：2019 年 12 月 19 日（木）18:30～20:15

参加費：無料

参加者：30 名

会場：CNS コミュニケーションラウンジ



【登壇者】

太刀川英輔（NOSIGNER 代表）

石原誠（アペルザ代表取締役社長）

中西裕子（資生堂 R&D 戦略部マネージャー）

米田智彦（FINDERS 編集長）

<ライトニングトーク>

近森基（plaplax.ltd）

鈴木篤（G Innovation Hub Yokohama）

5 関内外 OPEN ! 11

都心臨海部に集積したアーティストやクリエイターが、クリエイティブ好きの市民に向けてスタジオを開き、ワークショップやトークを共に楽しむイベントです。11 回目の今年度は、クリエイターが共同して実施する「道路のパークフェス」については関内まちづくり振興会が共催となり実施しました。個別に実施する「オープスタジオ」についても行いました。地域団体との共同開催で、より深く市民とクリエイターが交流する機会となりました。

日程：2019 年 11 月 2 日（土）、3 日（日・祝）

会場数：74 会場＋道路のパークフェス

参加スタジオ数：74 組

実施プログラム数：74 プログラム

来場者数：4,317 名



【スタジオ等の一覧】

	スタジオ名	イベント名
1	BUKATSUDO.*imformation	Beer Runイベント
2	NDCグラフィックス&エクスポート	オープンオフィス&ビックリエイティブショップ・ポップアップショップ
3	松島ビル4F/コンテナポラリーズ、GEN INOUE、アーキテクトカフェ	まさに自分のお店を出そう！
4	mass×mass 関内フューチャーセンター	マスマスカフェ 関内外OPEN!運動企画
5	みかんぐみ	みかんぐみOPEN！
6	ゲンジアーキ/源+古川	ゲンジアーキ/源+古川オープンスタジオ2019
7	kad ltd.(天野和俊)/TARPtoTARP	異業種ナイト
8	bear(武久絵里)	いきぬきする部屋
9	カフェノマ	カフェノマOPEN！STUDIO
10	小泉アトリエ	小泉アトリエオープンスタジオ
11	横浜デザインプロダクション	Haight AshburyにてスタジオOPEN！
12	BankART HOME	アートブック&カフェ —BankART Home—
13	オンデザインパートナーズ	Ondesign bar
14	さくらWORKS<関内>	さくらWORKS文化祭
15	ファブラボ関内	手作りイヤリング体験/瞬間燻製器cubesmokerを作って使うWS
16	旅するコンフィチュール	工房オープン
17	自在関内オフィス	須永健太郎「念形の展示と映像」
18	ピクニックルーム.*imformation	ペビ→マタニティサロン
19	nitehi works511	nitehi works open
20	明蓬館高等学校 横浜・関内 SNEC	YOU遊 ギャラリー
21	マツモトコーヒーロースターズ	手網で自家製焙煎とハンドドリップをやってみよう
22	NPO法人日本ぬいぐるみ協会	ぼんぼんワークショップ&アニマルハンティング
23	Creative Studio“はなうた” 三浦佑介(デザイナー)、中村ちひろ(デザイナー・書家)、 月森忍(内装デザイン・施工)、佐藤恵美(編集)	“はなうた”オープンスタジオ
24	ike atelier	ike Gallery
25	廃材標本KUアーキラボ	神奈川大学建築レビュー2019
26	合同会社ミタリ.設計	ミタリ設計オープンスタジオ
27	アトリエドゥウエル/松井壯介デザイン事務所	dwellマーケット/ジュエリーソープとグラノーラのショップ
28	スペース・スタジオ/タイクツ(アトリエタイク) 宮崎康住(新井ビルリノベ計画担当)、前嵩西一馬(文化人類学者・沖縄研究者)※トーク	タイクツラウンドテーブル(1st round)文化人類学者と立ち話のヨコハマ
29	BAU412 時里充、津田道子	スタジオBAUの入り口
30	有限会社設計室 渡瀬正記、永吉歩	オープンスタジオ
31	住吉町新井ビル/新井清太郎商店コラボ企画寒天研究所 ミタリ設計、KUアーキラボ(神奈川大学)、ike atelier、atelier dwell、建築設計 加藤住吉、有限会社 設計室、タイクツ(アトリエタイク)、045 total design works 株式会社	新井清太郎商店コラボ企画 寒天研究所
32	トキワ町アジール	ビル全体企画
33	さち庵	さち庵《銀河観音》体験会
34	秋山直子	スタジオマルシェ—Goods&Coffee—
35	齊藤芳子	オープンアトリエ—齊藤芳子(トキワ105)—
36	櫻井計画工房・悦計画室	オープンスタジオ
37	ライトハウス 櫻村和美、三浦かおり、岩間正明、中川達彦	ライトハウス・オープン
38	アトリエ・モビル/有形デザイン機構	アトリエ公開
39	トキワビル202(原崎寛明・星野千絵・北林さなえ)	トキワビル202オープンスタジオ

40	voids	ボイズOPEN!
41	古市久美子建築設計事務所 *information	古市久美子設計事務所オープンスタジオ
42	ときにわオフィス	住宅がシェアオフィスになるまで
43	Hamanishi DESIGN	Hamanishi DESIGNオープンスタジオ
44	高野萌美	plastic island / secondhand frontier
45	Kosha33ライフデザインラボ	ライフデザインラボOPEN! / 景観を箱に閉じ込めるボックスタウンのワークショップ / 開港5都市景観まちづくり会議横浜大会 / 関内外拠点めぐりツアー (スライド解説付き)
46	studio IRODORI建築設計事務所	Irodori OPEN! ~最新のまちへのアプローチを公開します! ~
47	G Innovation Hub Yokohama	OPEN G!-G innovation Hub Yokohama-
48	相澤事務所	相澤事務所オープンスタジオ
49	NOSIGNER	オープンツアー、ウェルカムパーティー、トーク対談等イベント多数
50	八板建築設計事務所	はじめまして、八板設計事務所です! (オープンスタジオ)
51	ever green Wedding ombrage (フラワーショップ)	1 day Flower Shop
52	無敵庵	無敵庵~横浜市歴史的建造物で作動体験~
53	NOGAN	NOGANオープンスタジオ
54	STGK	STGKオープンスタジオ
55	横濱元町AA STUDIO	横濱元町AASTUDIO建築展示&建築相談
56	DesignBase	しゃべくらTravel開催決定inコトブキ。旅のトピックとベルシャフード付
57	ことぶき協働スペース	ヘッポコ絵描きのyakko「めいどの土産に一枚いかが?」
58	ひらがな商店街 アートスペース「と」 *information	ハート・トゥ・アート
59	ヨコハマホステルヴィレッジ	寿町NIGHT WALK&PARTY
60	LAUNCH PAD GALLERY	ステンシルでポンポンお絵かき
61	IIDA Archiship Studio / Archiship Library & Café	ALC books
62	Studio Nibroll+LAB	カンナイカムイ
63	a&b *information 玉ノ井友季子、吉田未来	a&b個展「素敵な途中」
64	横浜シネマリン	映画館探検
65	シネマ ジャック&ベティ	ミニシアター&映写室見学ツアー
66	アイエヌファクトリー	革と真鍮で作るプレスレット、革で作る動物たち
67	末吉工舎	末吉工舎オープンスタジオ
68	patio-labo 木下直人、片桐三佳、寺田忍	グループ展「patio-lights」
69	黄金町エリアマネジメントセンター	黄金町ガイドツアー2019
70	ゆたかないばしょ運営委員会	ゆたかないばしょ廻るアトラウンジ
71	榎井淳介デザインスタジオ、セサミファクトリー	らくがき&シャボン玉広場
72	アンイースタジオ	レジンでキーホルダーを作ろう!
73	ひらがな商店街 アートスペース「と」/コQ(アーティスト)	agape
74	アイエヌファクトリー	子供向けWS 大人向けWS

6 ドックヤードガーデン活用事業(施設名:BUKATSUDO)

ドックヤードガーデン活用事業運営協議会を通じて、参加5社(横浜市、三菱地所(株)、三菱地所プロパティマネジメント(株)、(株)リビタ、当財団)で情報共有を行っています。“大人のためのシェアプレイス”をコンセプトに作られた施設は、みなとみらい地区で働く人々の心をつかみ、新たなコミュニティ拠点へと成長しています。BUKATSUDOの利用者やクリエイターの紹介、財団自主事業での利用、各種広報協力を行いました。

7 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama 2020)

今年で開催から 25 年目を迎えるアジアで最も古い国際的な舞台芸術のプラットフォーム。PARC (国際舞台芸術交流センター) を事務局に、当財団、国際交流基金アジアセンター、公益財団法人神奈川芸術文化財団の 4 者が実行委員会として主催し、組織の垣根を越え、都心臨海部の創造界隈を中心に多様な文化施設が協働しました。

9 日間にわたり、同時代の舞台芸術に関わるプロフェッショナルが国や地域を超えて出会い、公演、ディスカッション、ミーティングなど多彩なプログラムを通して情報交換、相互学習、ネットワーキングを行いました。より豊かな国際ネットワークづくりに貢献し、様々な作品・人材を横浜から世界へ発信しました。



オープニングレセプション



ピチエ・クランチェン/No. 60



劇団態変/箱庭弁当



TPAM エクステンジ
グループミーティング

会期：2020年2月8日～16日

会場：KAAT 神奈川芸術劇場、Kosha33、横浜市開港記念会館、横浜ポートシアター、
クリフサイド、関内新井ホール、横浜赤レンガ倉庫1号館など

公演数：11 演目 27 公演 (公演プログラム「TPAM ディレクション」)

フリンジ：52 団体・39 会場・277 公演

総来場者数：31,302 名 海外からの参加国数：45 カ国

登録者+アーティスト：962 名 (うち来日された方は 476 名)

うち来日アーティスト・ディレクター等：41 名 (前年度 34 名)

アーツカウンシル・ネットワーク・ミーティングへの参画

芸術文化振興基金が事務局を務める全国のアーツカウンシル・ネットワーク・ミーティングに参画し、幹事を3自治体(横浜市、新潟市、大分県)共同で務めています。これは、日本初の地域アーツカウンシルと評価される、当アーツコミッション・ヨコハマが培ってきた経験や知識を広く全国の自治体と共有し、日本の文化政策の進展に寄与するものです。これから派生して、新潟市芸術文化振興財団と共催し、TPAM in Yokohama にあわせて地域アーツカウンシルに関するフォーラムを開催し、業界内での活動の発信を試みました。

■2019年度のネットワークミーティングの開催

2019年7月5日@東京、2019年10月11日@新潟、2020年2月10日@横浜
毎回20自治体、50名程度が参加

■地域アーツカウンシルランドテーブル2020 芸術と社会 ～地域アーツカウンシルの可能性と展望～

全国の地域アーツカウンシル事例紹介と今後の展望についてのクロストーク。

日時 2020年2月11日(火・祝) 12:00～13:40

会場 横浜開港記念会館 第6会議室

主催 アーツコミッション・ヨコハマ、アーツカウンシル新潟

登壇者

芦立さやか(沖縄県文化振興会/沖縄アーツカウンシル プログラム・オフィサー)

北本麻理(静岡県文化プログラム推進委員会・プログラムコーディネーター)

熊井一記(神奈川県共生共創事業-KAAT 神奈川芸術劇場/神奈川芸術文化財団)

里見有祐(アーツコミッション・ヨコハマ/横浜市芸術文化振興財団 プログラム・オフィサー)

福島尚子(アーツカウンシル新潟 プログラム・オフィサー)

杉浦幹男(アーツカウンシル新潟/アーツカウンシルみやざき プログラムディレクター)

杉崎栄介(アーツコミッション・ヨコハマ/横浜市芸術文化振興財団 プログラム・オフィサー)

野村政之(長野県文化政策課 文化振興コーディネーター)

ヨコハマ創造産業振興助成

令和元年度 事業報告書

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

横浜市文化観光局が掲げる文化芸術創造都市・横浜施策に基づき、「ヨコハマ創造産業振興助成」を施行、新商品・サービス開発部門と事務所開設奨励部門の2部門の公募を行いました。

「ヨコハマ産業振興助成事業」

ヨコハマ創造産業振興助成 新商品・サービス開発部門では、クリエイターが企業や大学等と連携をして新たなサービスや商品などを開発する取組を支援するための助成において、市内に優れた中小企業等が多数存在することを背景に、クリエイターのアイデアと企業や大学等の技術力とのかけあわせで新たなビジネスが生まれることを期待し、横浜ならではのデザイン・ものづくりが国内外に発信されることを支援しました。もう1つの事務所開設奨励部門では革新的な取組を行うクリエイティブ企業が関内・関外地区に拠点を構えることに対する支援を目的として公募を実施しました。

(1)新商品・サービス開発部門

応募総数:4件

採択件数:3件 交付総額:4,000,000円

募集期間:令和1年6月24日(月)~7月16日(月)

審査会:令和1年8月22日

審査員:

井手美由樹(中小企業診断士)

加藤盛司(公益財団法人横浜企業経営支援財団 経営支援部技術支援担当部長)

鈴木淳(台東デザイナーズビレッジ 村長/株式会社ソーシャルデザイン研究所 代表取締役)

【採択事業】

① 一般社団法人技術発想融合協会(代表:伊東祥次)

「texi yokohama プロジェクトの海外展示会出展事業」 交付額:1,500,000円

【実施内容】

『texi yokohama』は、横浜市内の中小企業の高い技術力(technic)とクリエイターのアイデア(idea)を掛け合わせた、横浜市の地域ブランド。町工場=中小企業のBtoC(エンドユーザー)向けの商品の開発、製造、販売を目的としている。今回、これまで開発してきた商品をアンビエンテ(2020年2月フランクフルト開催)へ出展し、特設WEBを開設、海外への販路拡大を行う。



② 有限会社スタジオニプロール(代表:矢内原充志)

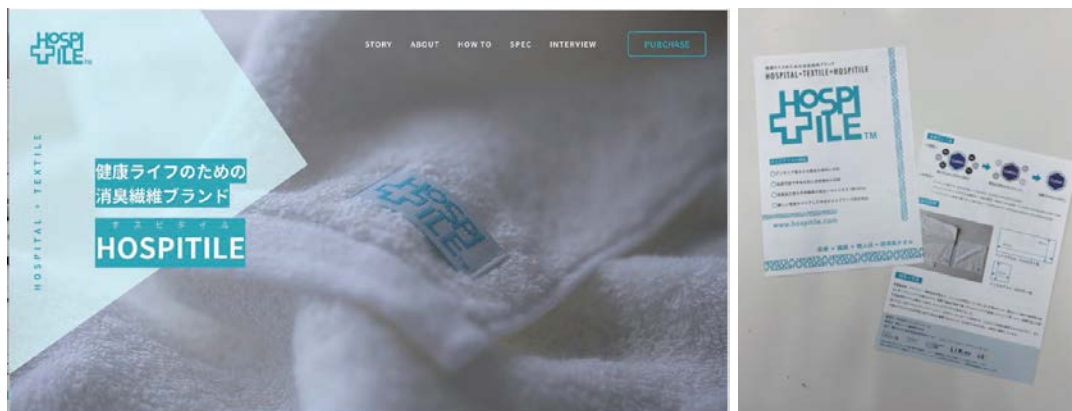
HOSPITILE(ホスピタイル)プロジェクト

医療×衣料が生むイノベーション。超消臭・抗菌繊維商品の開発。交付額:1,000,000円

【実施内容】

従来の医学は、病気や症状への対処(治療)を目指していたが、医療や健康に関する情報を扱う主体

が一般の人々に急速に移りつつある今、病気に至る以前の生活者にコミュニケーションを図る活動の重要性が増している。そこで本プロジェクトは、「医療」と「衣料」を組み合わせ生活の質を上げるための繊維プロダクトを開発・発信をし、主に未病の人々にヘルスケアの概念を伝えることを目的とする。今回、ファッションデザイナーが、横浜市立大学医学部等と連携し、健康的な質の高いライフスタイルを後押しする顧客目線の高品質な商品を開発し、手に取りやすい価格で販売する。消臭タオルの商品からスタートし、抗菌繊維を開発する。



③ Yokohama Makers Village(代表:藤澤秀行)

DESIGNART TOKYO 2019 出展を通じた YMV の国内プロモーション展開 交付額:1,500,000 円

【実施内容】

Yokohama Makers Village は、金属の素材にこだわり金属加工の技術力を示すとともに、デザイナーとの協業による金属製品のデザインの可能性を示しながら、金属のソリューションサービスを提供している任意団体。横浜市の中企業の技術力を国内外に訴求し、付加価値の高い製品を製作・販売する中で、売上の増加及び、それに連動した本業の新規顧客の開拓、ビジネスチャンスの拡大を目標としている。今回、DESIGNART TOKYO 2019(10 月東京開催)において、ミラノデザインウィーク 2017-2019 に出品した全作品の展示、セールス、トークイベント、交流会等を行った。



(2)事務所開設奨励部門

採択件数：0 件

募集期間：令和 2 年 2 月 5 日（水）まで、都度申請受付、都度審査

審査員：

井出 美由樹(中小企業診断士/ターンアラウンドマネージャー)

松井 創(株式会社ロフトワーク/Layout Unit CLO)

藤崎 信裕(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団経営企画室室長)

横浜への事務所移転検討を行う申請対象者の利便性を鑑み、交付事務期間の手続き見直しを図り、申請締切日の延長変更を行った。また既存のウェブサイト、チラシでの周知のほか、締切延長にあわせて横浜への事業所移転の機運醸成およびニーズ把握のためのPRイベントを開催し、本制度とターゲットとのコンタクトポイントを創出したが採択までは至らなかった。

	実績
11月 第3週	<ul style="list-style-type: none"> ●ウェブ広報 30件 ●個別広報実施 12/25 200件へメール (助成採択者、プラットフォーム事業参加者)
11月 下旬	<ul style="list-style-type: none"> ●取組イベント広報実施 12/12 PRtimes ニュースリリース配信 12/12 創造都市横浜 Twitter 5,896 インプレッション 12/13 創造都市横浜 Facebook 1,282 リーチ 12/13 個別メール(過去移転相談者) 12件 ●チラシ配布 【市外】横浜市経済局東京オフィス 【市内】YOXO BOX、G InnovationHub、BUKATSUDO、massmass 関内フューチャーセンター、
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント開催実施 12/19 「横浜進出で広がるクリエイティブな展望」 中目黒・CNS コミュニケーションラウンジ 参加者30名(登壇者10名含む) ●イベント記事配信 1/31 FINDERS「クリエイティブ人材、熱烈歓迎中! 「横浜」で創造的ビジネスをするこれだけのメリット」7,576 ページビュー
1月	<ul style="list-style-type: none"> ●ACY 相談にて本助成についての相談対応 11月~1月期 5件



12/19 イベント「横浜進出で広がるクリエイティブな展望」の様子

英国ホストタウン交流事業

令和元年度 事業報告書

<令和元年度 総括>

ブリティッシュ・カウンシルと連携し英国ホストタウン交流事業として、先進的な取り組みを行うスコットランドのクリエイティブ・ダンディーから専門家を招き、「都市の創造性」をテーマにフォーラムとラウンドテーブルを開催しました。当日は横浜市内外から芸術文化のみならず、クリエイター、行政・企業関係者など幅広い人材が横浜に集いました。全国に先駆けたインパクトのある事業を通して、文化芸術創造都市・横浜の文化芸術活動の中核を担う財団としてリーダーシップを発揮するとともに、創造性豊かな市民生活に寄与しました。また、ここでの新たな学び(協働、統計)と手法を取り入れ、今後のACYの取組みに反映させるなど、芸術と社会の関係づくりを推進する契機としました。

1「英国ホストタウン交流事業」

平成30年度より、ブリティッシュ・カウンシルと連携し、英国との交流事業に取り組んでいます。このネットワークを活かし、今年度はデザイン、デジタルコンテンツで経済成長を続けるスコットランド・ダンディー市の創造産業におけるキープレイヤーとして活動する中間支援団体クリエイティブ・ダンディーから専門家を招き、フォーラムとラウンドテーブルを開催。横浜市内外から、クリエイター、起業家、行政・企業など幅広い人材が横浜に集いました。

フォーラム

ブリティッシュ・カウンシルとの連携のもと、英国側からゲストとしてロリ・アンダーソン氏を招聘。市内外で活躍するクリエイターやオーガナイザー、編集者などを迎え、「創造性の広がりをもたらす都市へのインパクト」と題してフォーラムを行い、交流を通じて、クリエイターや起業家や行政・企業など様々なプレイヤーがつながることで社会に生まれる価値について、その考え方や仕組みを互いに学びあい、都市における創造性の役割を明らかにする交流プログラムを実施。

フォーラム:「創造性の広がりをもたらす都市へのインパクト」～クリエイティブ・ダンディーを迎えて

日時:令和2年1月20日(月) 18:30-21:00

会場:YOXO BOX

登壇者:ロリ・アンダーソン(クリエイティブ・ダンディー)、太刀川英輔(NOSIGNER)、吹田良平(アーキネティクス)、治田友香(関内イノベーション・イニシアティブ)、こくぼひろし(ひとしずく)、秋山怜史(一級建築士事務所秋山立花)、加藤佑(ハーチ)

来場者数:97名

ラウンドテーブル「クリエイティブ・ダンディーを迎えて」

日時:令和2年1月21日(火) 16:00-18:00

会場:YOXO BOX

参加:ロリ・アンダーソン、湯浅真奈美(ブリティッシュ・カウンシル)、杉浦裕樹(横浜コミュニティデザインラボ)、西田司(オンデザイン)、森川正信(関内イノベーション・イニシアティブ)、横浜市文化観光局、横浜市経済局、ACY

